

CS-563E

土工用振動ローラ

CAT®



掲載写真は、標準仕様と一部異なります。

第二次基準値
排出ガス対策型

	CS-563E
運転質量	11,450kg
締固め幅	2,130mm
エンジン定格出力	112kW(152PS)

パワフルにたくましく。クラストップの作業性能。



掲載写真は、標準仕様と一部異なります。

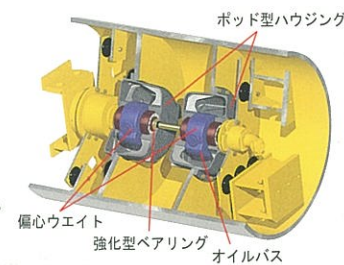
リミテッドスリップディファレンシャル

後輪軸には、リミテッドスリップディファレンシャルを標準装備。コーナリング時や軟弱地作業などにおいて、片方のタイヤがスリップした場合も、もう片方が効果的にトラクションを確保します。

オイルバス式起振装置

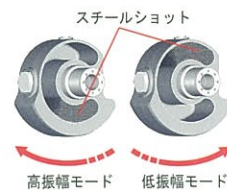
起振装置は、ベアリングなどの潤滑用オイルを密閉しグリース給脂を不要としたオイルバス方式を採用。オイル交換サイクルは3年もしくは3,000時間と長時間を実現しました。

また、装置本体は、脱着可能なポッド型ハウジングに内蔵されており、万一不具合が生じた場合もポッドごとアッセン交換を行うことで、少ない休車時間で現場復帰が可能です。



偏心ウエイトシステム

2段階振幅切替装置には、CAT特許の偏心ウエイトシステムを採用。粒子状のスチールショットが流れるように移動して振幅変更を行うため、振動開始時や停止時のショックを低減。振幅の切替は、運転席のスイッチひとつで簡単に行えます。



パワフル&クリーン電子制御ディーゼルエンジン

112kW(152PS)のハイパワーエンジンにATAAC(エアトゥエアアフターラ)を装着し、国土交通省排出ガス(第2次)基準値をクリア。エンジン回転数コントロールには、ハイ/ローがワンタッチで切替可能な電気式ガバナを採用。また油圧モータ駆動の低騒音ファンや、サイドダクトを採用し、周辺環境やオペレータに高い静粛性を実現します。

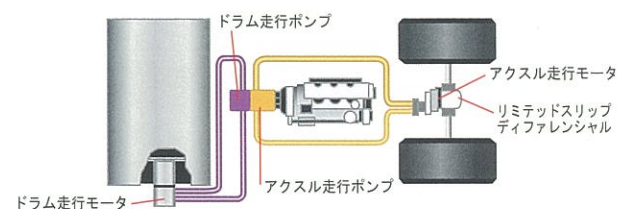


国土交通省
第2次基準値
排出ガス対策型

国土交通省
低騒音型建設機械

タンデム走行ポンプ(2ポンプ2モータ)システム

CAT独自の2ポンプ2モータによる、タンデム走行ポンプシステムを採用。2基の走行ポンプが、前後輪をそれぞれ独立駆動し、強力なけん引力、抜群の登坂性能を発揮。荒れ地や急勾配など、過酷な現場で大きく差が出るシステムです。



走行2速切替

作業用の低速(Lo)モードでは0~5.7km/h、移動用の高速(Hi)モードでは0~11.4km/hの範囲で調節が可能です。

掲載写真は、標準仕様と一部異なります。



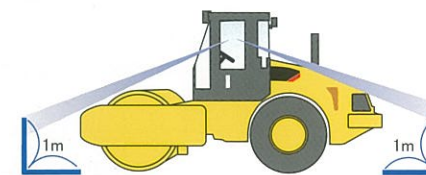
ワイド&デラックスのワールドクラスキャブ

広さ、静かさ、そして確かな質感。すべてにクラス最高を求めたインテリア。スーパーコンピュータによる高度な3次元シミュレーション設計から生まれた、ワールドクラスキャブを搭載。次世代のマシンにふさわしい運転環境を実現しました。



パノラマ感覚のワイドビュー

ピラーを廃したシリコンポデイドガラスの採用により、パノラマ感覚のワイドビューを確保。さらに、後方に大きくスラントしたエンジンフードの採用により、前・後方とも欧州視界基準の1×1m(ワンバイワン)をクリアし、安全性を向上しました。



自動起振装置

起振装置は、前後進レバー先端のON/OFFスイッチで操作。さらに車両が走行している間だけ振動させることができる、便利な自動振動モードを搭載しています。



■最適な各種ポジション調整機構

オペレータの体格に合った最適な運転姿勢がとれるよう、各種調整機構が装備されています。チルトステアリング、サスペンションシート、リストレストに調整機構を装備。

前後進レバーニュートラルスタート

前後進レバーが中立の時だけエンジン始動が行えます。



チルトアップエンジンフード

エンジンフードは大きくチルトアップさせることが可能。ガスシリンダアシスト付きで、開閉も容易に行え、エンジンや冷却システムへのサービス性が格段に向上します。

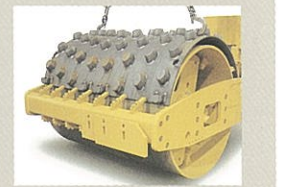
キャブチルト機構

万一油圧ポンプなど車体内部で不具合が発生した場合でも、容易にアクセスできるよう、手動シリンダによるキャブのチルト機構が装備されています。

OPTION

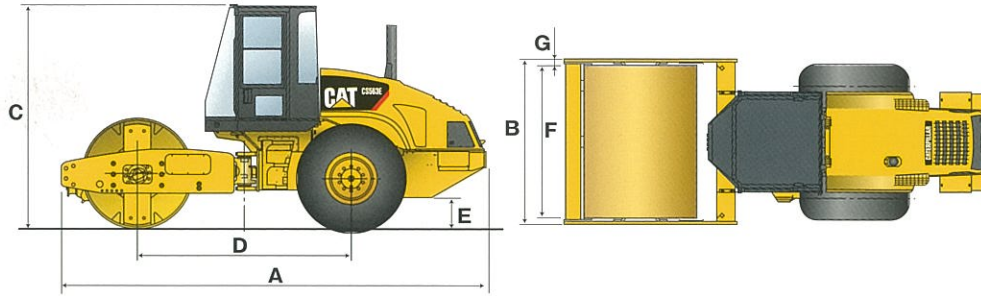
■パッドドラムシェルキット

スムーズドラムの上からパッド付のシェルキットを装着可能。作業現場に合わせてドラムを変更する際、従来のアッセン単位での交換に比べて、コスト、時間を大幅に節約できます。



専用フロントバンパー、スクレーパ付

■外形図



■主要諸元

		CS-563E		
運転質量	kg	11,450		
質量配分	前輪	kg	5,930	
	後輪	kg	5,520	
線圧	N/cm(kgf/cm)	272 (27.8)		
振動装置	起振力	高	kN(kgf)	143~266 (14,530~27,160)
		低	kN(kgf)	71~133 (7,270~13,580)
	振幅(高/低)	mm	1.7/0.85	
	振動数	Hz(vpm)	23~32 (1,400~1,914)	
	振動モード	自動(前後進レバー連動)/連続		
主要寸法	A 全長	mm	5,760	
	B 全幅	mm	2,290	
	C 全高	mm	3,070	
	D ホールベース	mm	2,900	
	E 最低地上高	mm	448	
	F 締固め幅	mm	2,130	
	G サイドオーバーハング	mm	左右各80	
	ドラムサイズ(幅×直径)	mm	2,130×1,524	
	タイヤサイズ	23.1-26.8PR		

		CS-563E		
エンジン	名称	CAT 3056E-JE2-TAA型ディーゼルエンジン		
	形式	4サイクル水冷直列直噴式ターボチャージャーアフタークーラ付		
	シリンダ数-内径×行程	6-100mm×127mm		
	総行程容積	cc	5,985	
	定格出力	kW/min ⁻¹	112(152PS)/2,200	
トランスミッション	方式	HST(全油圧駆動)		
	速度段	無段(低/高2モード)		
	走行速度	低速	km/h	0~5.7
		高速	km/h	0~11.4
登坂能力	度	34		
ステアリング	形式	フレーム屈折式パワーステアリング		
	操向角度(左右)	度	34	
	最小旋回半径(斜体外側)	m	5.81	
ブレーキ	主ブレーキ形式	油圧ダイナミックブレーキ		
	緊急/駐車ブレーキ形式	スプリング作動油圧解放式ディスクブレーキ		
容量	燃料タンク	L	300	
	冷却水	L	26	
	作動油タンク	L	64	

■締固め材料と撒きだし厚

◎:最適 ○:適 △:可 -:不可

	撒きだし量	CS-563E	CS-563E
		スムーズドラム(標準)	パッドドラム(オプション)
砂	15~30cm	◎	△
粘土質の砂	30~45cm	○	△
沈泥質の砂	45~60cm	△	△
砂状の粘土	15~30cm	○	◎
沈泥質の粘土	30~45cm	△	○
安定した粘土	45~60cm	△	△
シルト(沈泥)	15~30cm	○	◎
砂/粘土状のシルト	30~45cm	○	○
灰/石灰	45~60cm	△	○
砂利	15~30cm	○	△
碎石	30~45cm	△	△
	45~60cm	-	△
傾斜地対応		◎	○

■作業能力 CS-563E

赤字:常用値 オーバーラップ7%(15.2cm)、作業時間率83%(50/60)

転圧回数	作業速度 (km/h)	撒きだし厚(cm)							転圧面積 (m ² /h)
		30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm	
		CS-563E 作業量 (m ³ /h)							
4	3	372	496	619	743	867	991	1,115	1,239
	4	496	661	826	991	1,156	1,321	1,487	1,652
	5	619	826	1,032	1,239	1,445	1,652	1,858	2,065
6	4	330	440	551	661	771	881	991	1,101
	5	413	551	688	826	963	1,101	1,239	1,376
8	4	248	330	413	496	578	661	743	826
	5	310	413	516	619	723	826	929	1,032

キャタピラー・ジャパン株式会社

本社(代表) 東京都世田谷区用賀4丁目10番1号 〒158-8530 TEL.03-5717-1121
(カタログお問い合わせ先) TEL.042-764-8730
HP <http://japan.cat.com/>

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。

労働安全衛生法に基づき機体質量3トン以上の「車両系建設機械(整地・運搬・積込・掘削用)および(解体用)の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

CATERPILLAR(キャタピラー)、CAT及びACERTはCaterpillar Inc.の登録商標です。
掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を接地させてください。
掲載写真は標準仕様と一部異なる場合があります。また仕様は予告なく変更することがあります。



本機をご使用の際は、必ず取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください。



本機をご使用の際は、必ず取扱い説明書をよく読み、正しくお使いください。
故障や事故などを防止する為、定期点検を必ず行ってください。

お問い合わせ先